



「第1回珠光茶会」を開催 ～茶の湯の華開く 奈良の都～

奈良市と南都の七社寺で構成する「珠光茶会実行委員会」は、平成26年2月12日（水）～2月16日（日）の5日間の日程で「第1回珠光茶会」を開催する。

■「珠光茶会」

「わび茶」は、室町時代の茶人で奈良市出身である村田珠光が創始し、千利休が大成させて全国に普及したといわれている。そのような現在の茶道の源流とも言える奈良のお茶文化に触れる機会として、お茶会を開催するものである。

奈良市内の世界遺産を含む七社寺や、歴史的な街並みが残る「ならまち」のお茶室を会場として、表千家、裏千家、武者小路千家の三千家と遠州流が一堂に会して、お茶席を設ける。

期間中はお茶席だけでなく、お茶に関するシンポジウムや、エクスカージョンとして「ならまち」で実施されている特別展などを巡るガイドツアーを開催する。

■「珠光茶会」の詳細

開催日時：平成26年2月12日～2月16日

午前9時～午後4時

会場：奈良市内七社寺

（春日大社、元興寺、西大寺、大安寺、唐招提寺、東大寺、薬師寺）

「八窓庵（奈良国立博物館内）」

「名勝大乗院庭園文化館」



「珠光茶会」記者発表の様子

参加茶道流派：表千家、裏千家、武者小路千家、遠州流

お茶券：5,000円券、3,000円券、1,000円券

詳しくはパンフレット及び奈良市HPをご覧ください。

第1回珠光茶会日程

会場	2/12 (水)	2/13 (木)	2/14 (金)	2/15 (土)	2/16 (日)
春日大社	○	○			
元興寺	○				
西大寺	○	○	○	○	○
大安寺				○	○
唐招提寺					○
東大寺		○	○		
薬師寺		○		○	
八窓庵		○			
大乗院				○	○

実行委員会は、「多くの方々にお茶に親しむ機会を提供し、奈良におけるお茶文化を広く紹介するとともに、凛とした冬の古都を味わっていただきたい」と、奈良でお茶文化の裾野を広げることを目指している。

「珠光茶会」が奈良のいにしえからの文化を伝える香り高い行事として、既に2月に催されている「なら瑠璃絵」と合わせて、冬の奈良を彩る新しい魅力となり、観光客の誘致につながることを期待したい。

（奥 桂子）

